

第八次 宮崎県森林・林業長期計画

～持続可能なみやざきの森林・林業・木材産業の確立～

概要版

改定
計画



宮崎県

森林の目指す姿

- 多面的機能の持続的発揮
- 齢級や樹種の構成等のバランスが取れ、多様な動植物が生息する森林

林業の目指す姿

- スマート林業や森林施業の省力化等による林業の採算性向上
- 再造林による持続的な林業の確立

木材産業の目指す姿

- 木材の加工・流通の合理化及び品質・性能が確かな製材品の安定供給
- 多様な分野での木材利用

基本目標

『持続可能なみやぎきの森林・林業・木材産業の確立』 ～多様な森林づくりとイノベーションを通じて～



基本計画

多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくり

- ①適切な森林管理の推進
- ②資源循環型の森林づくりの推進
- ③安全・安心な森林づくりの推進



持続可能な林業・木材産業づくり

- ①効率的な林業経営と原木供給体制の確立
- ②木材産業の競争力強化
- ③県産材の需要拡大の推進
- ④特用林産の振興
- ⑤研究・技術開発及び普及指導



森林・林業・木材産業を担う地域・人づくり

- ①山村地域の振興・活性化
- ②林業・木材産業を支える担い手の確保・育成
- ③森林を育み、支える人づくり



重点プロジェクト

グリーン成長プロジェクトを引き継ぐ4つの柱

- 重点1 再造林の推進に向けた意識醸成と支援体制等の充実
- 重点2 再造林を支える担い手・経営体の確保
- 重点3 林業採算性の向上を図る新技術等の実装
- 重点4 循環型林業に不可欠な県産材需要の拡大



地域計画

中部地域

南那珂地域

北諸県地域

西諸県地域

児湯地域

東白杵地域

西白杵地域

2 | 計画の目標と施策の基本方向

個々の森林が持つ多面的機能が、より高度に、より持続的に発揮される森林づくりを行い、健全な姿で未来に引き継いでいくため、本県の「長期的に目指す森林の姿」を示すとともに、資源循環利用を目指す人工林における5年後の素材生産量と再造林率の目標を設定しました。

その実現に向けて、県民や森林・林業関係者と「長期的に目指す森林の姿」の理念の共有を図りながら、森林所有者、事業者等との連携のもと各種施策を展開します。

1 目指す森林の姿

森林は木材の生産に加え山地災害防止や水源の涵養、生物多様性の保全など公益的機能の発揮を通じて県民の生活を支え地域経済の発展に寄与しており、これら森林の持つ多面的機能が持続的に発揮されるよう、**将来にわたって持続可能な林業経営を目指す森林**(以下「**生産林**」という。)と**森林の持つ公益的機能の発揮を重視する森林**(以下「**環境林**」という。)に区分し、それぞれの目的に応じた森林へ誘導することで、適地適木を基本とした多様な林齢、多様な樹種から構成される森林を目指します。

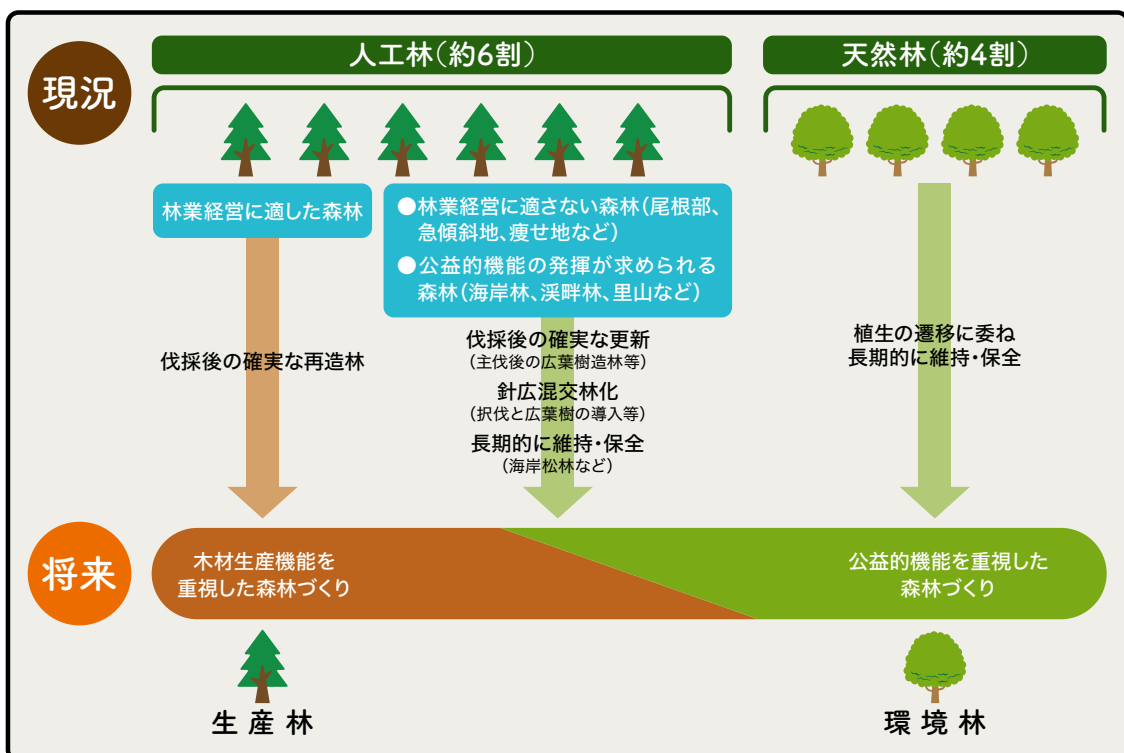
2 生産林と環境林

ア 「生産林」

人工林のうち、林木の生育に適した土壌を有し、傾斜が比較的緩やかで、路網からの距離が近く、山地災害発生リスクが低いなど林業経営に適した森林を指し、木材生産機能を重視した森林づくりを行います。

イ 「環境林」

人工林のうち、経済性等を考慮した場合に林業経営に適さない森林(尾根部、急傾斜地など)や公益的機能の発揮がより望まれる森林(海岸林、溪畔林など)、及び天然林を指し、公益的機能を重視した森林づくりを行います。



長期的に目指す森林の方向性

3 目指す森林の方向性

ア 「生産林」

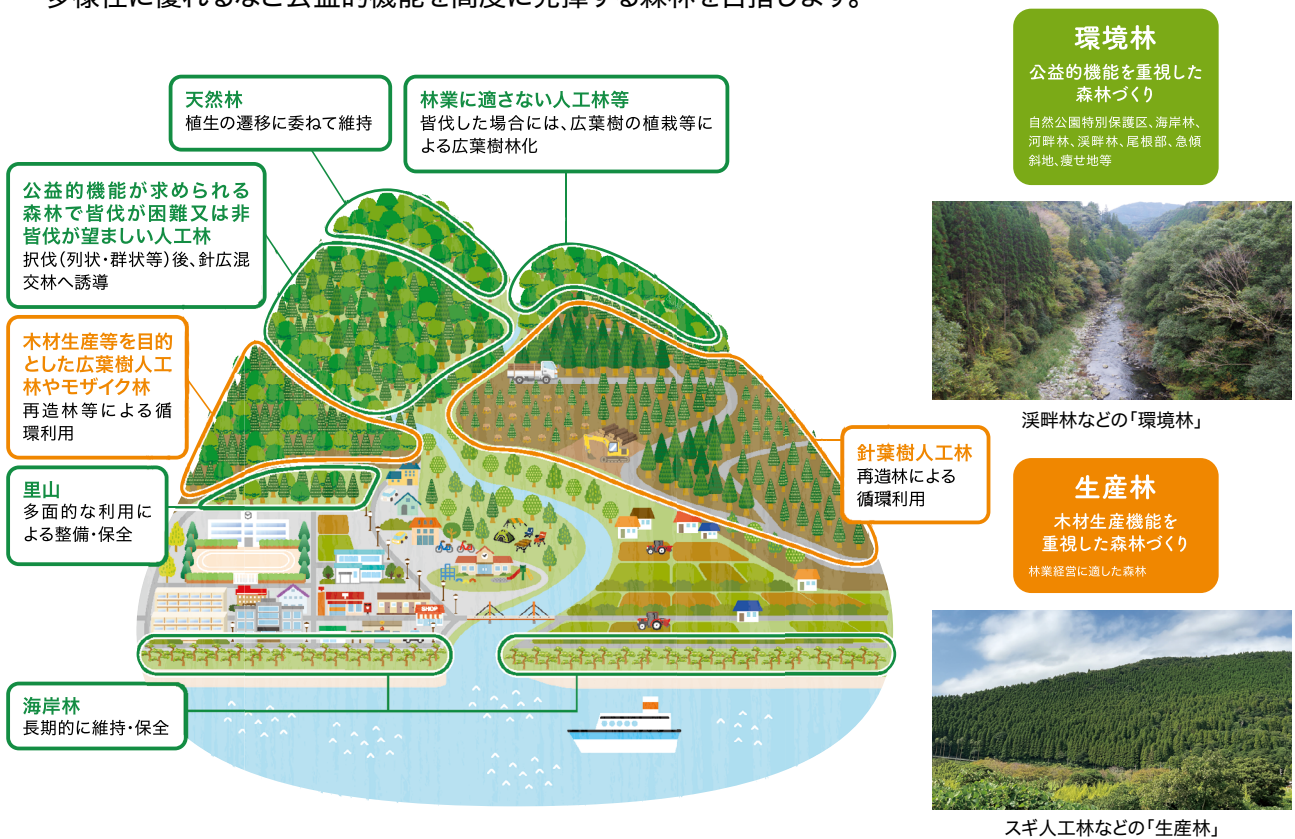
木材等の林産物を持続的・安定的かつ効率的に供給するため、主伐を行った後には確実な再生林と適切な保育等を行うとともに、路網の整備や機械化等の効率化を推進し、森林資源の循環利用による持続的な木材供給が可能な森林を目指します。

イ 「環境林」

災害の防止や水源の涵養^{かん}など公益的機能を高める観点から、人工林を皆伐する場合には、広葉樹の植栽や天然力の活用により広葉樹林化を図ります。また、皆伐が困難又は公益的機能を発揮するために非皆伐が望ましい人工林では、自然条件等に応じて択伐後の広葉樹の導入等により針広混交林に誘導します。

現況が天然林の場合には、植生の遷移に委ねることを基本に必要なに応じて最低限の施業を行い、広葉樹を主体とした成熟した森林として維持していきます。

これにより、広葉樹等の多様な樹木等で構成され、林冠や根系が発達し、土壌保持力や保水能力、生物多様性に優れるなど公益的機能を高度に発揮する森林を目指します。



「長期的に目指す森林の姿」のイメージ

4 5年後の素材生産量と再生林率

本計画では、非住宅等の新たな分野での市場開拓や製品の海外輸出などの施策により県産材の需要を維持することとし、5年後の素材生産量の目標を190万^mとしました。

また、伐採による資源利用が進む中、持続可能な林業を確立していくため、再生林率の目標を90%としました。

現況 (令和6年度)		将来目標 (令和12年度)	
素材生産量 (万 ^m)	189	素材生産量 (万 ^m)	190
再生林率 (%) (参考 R6再生林面積 2,079ha)	79	再生林率 (%)	90

3 | 基本計画

1 多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくり



伐採後の速やかな再生林を推進するとともに、森林計画制度や森林経営管理制度及び市町村が定める機能別ゾーニング等に基づき、ICT技術の積極的な活用による効率的で適切な管理に努め、多様な樹種や年齢で構成され、多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくりを推進します。

① 適切な森林管理の推進

具体的な施策 【図1参照】

- ア 森林計画制度に即した適正な森林の整備・保全
- イ ICT等を活用した森林関連情報の整備
- ウ 公的関与による森林管理
- エ 生物多様性の保全に配慮した森林づくりの推進



針葉樹・広葉樹が混交するモザイク林

主な指標

項目	現況値 令和6年度	目標値 令和12年度
森林経営計画作成率 (%)	48.2	53.0
ICTを活用した森林管理・調査に取り組む事業者数 (者)	22	40
森林経営管理制度における意向調査実施累計面積 (ha)	17,527	55,800
広葉樹造林面積 (ha)	87	400

② 資源循環型の森林づくりの推進

具体的な施策 【図2参照】

- ア 適切な再生林の推進とコストの低減
- イ 適切な間伐の推進
- ウ 優良な苗木の生産拡大
- エ 効率的で災害に強い路網の整備
- オ 野生鳥獣被害防止対策の推進



優良な苗木の生産

主な指標

項目	現況値 令和6年度	目標値 令和12年度
再生林率 (%) ※R4年度:75%、R5年度:78%	79	90
造林と伐採の連携による再生林面積 (ha)	384	500
間伐実施面積 (ha)	2,533	6,000
スギ苗木生産量 (万本)	612	620
内数:コンテナ苗木生産量 (万本)	296	372
内数:特定苗木の苗木生産量 (万本)	207	250
林内路網密度 (m/ha)	39.3	40.6
シカ推定生息数 (頭)	(令和5年度) 88,000	47,000
シカ捕獲数 (頭)	24,062	14,000

③ 安全・安心な森林づくりの推進

具体的な施策 【図3参照】

- ア 林地の保全と保安林の適切な管理
- イ 山地災害の防止と復旧対策の推進
- ウ 濁水・流木の発生源対策の推進
- エ 林野火災対策の推進
- オ 松くい虫被害対策等の推進



治山施設(木製校倉式土留)

主な指標

項目	現況値 令和6年度	目標値 令和12年度
保安林指定率 (%)	32.0	33.5
山地災害危険地区の着手箇所数 (箇所)	2,617	2,737

参考

図1 森林資源の現状 (森林法第2条に規定する森林、令和7年3月31日現在)

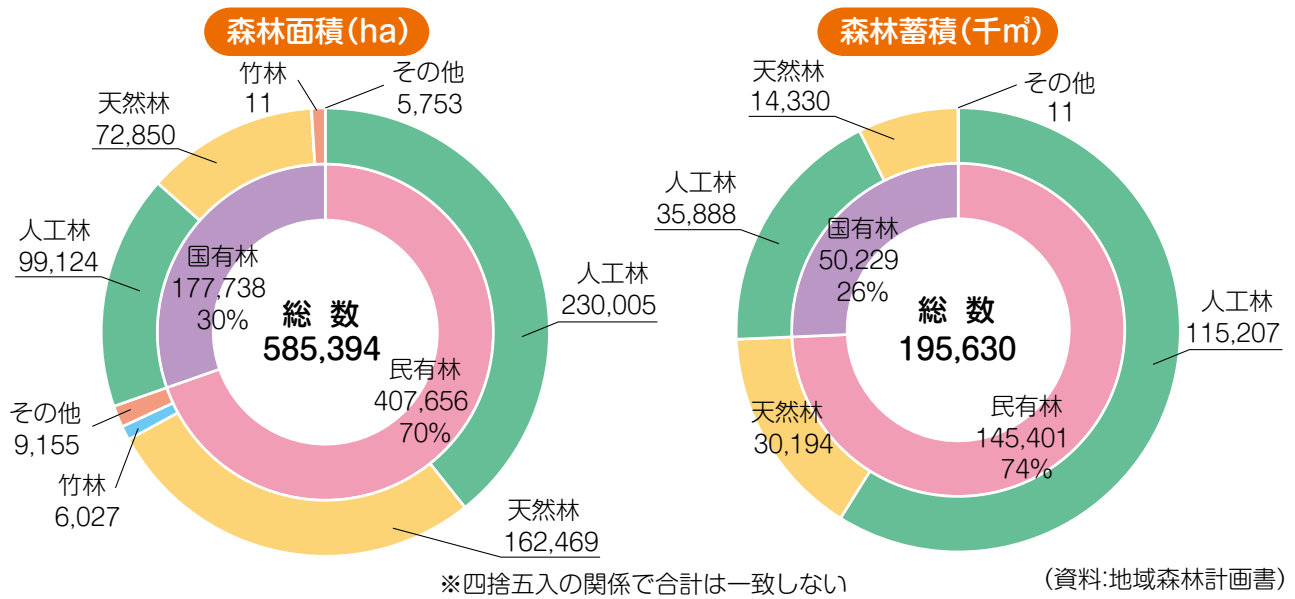


図2 造林実績

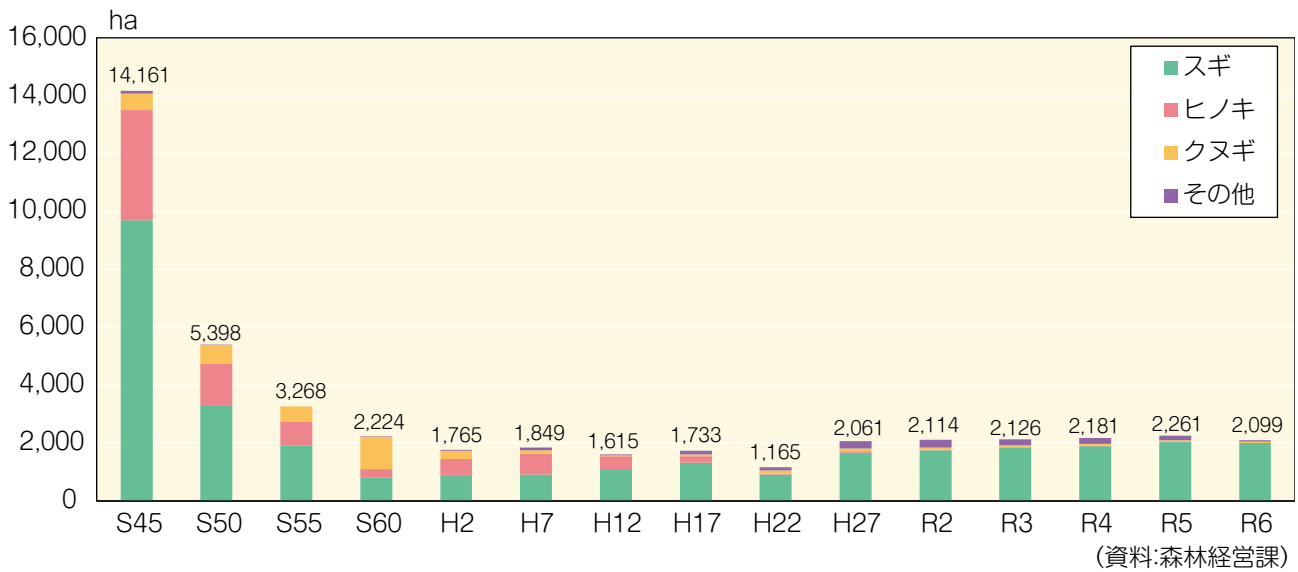
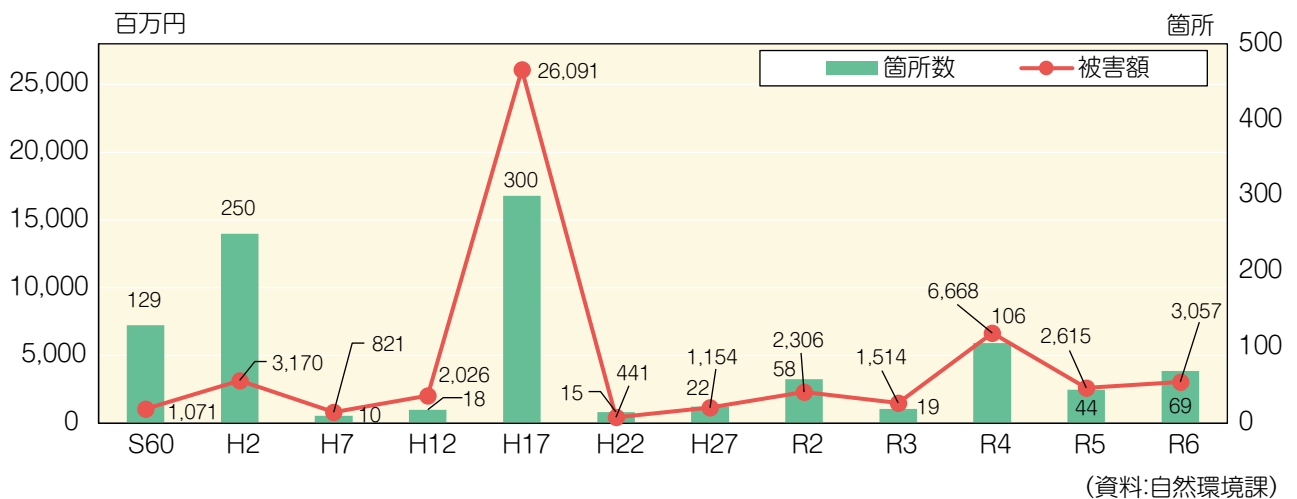


図3 山地災害の発生状況



2 持続可能な林業・木材産業づくり



効率的な林業経営の推進や再造林及び環境に配慮する林業経営体の育成、持続可能な原木供給体制の確立、需要者のニーズに応じた製品の安定供給のほか、消費者に選ばれる産地・製品づくりの推進や特用林産物の消費・販路拡大、普及指導等に取り組み、持続可能な林業・木材産業づくりを推進します。

① 効率的な林業経営と原木供給体制の確立

具体的な施策

【図4参照】

- ア 林地の集積や施業の集約化等による効率的な林業経営の推進
- イ 経営感覚に優れ、再造林や環境に配慮する林業経営体の育成
- ウ 持続可能な原木供給体制の確立
- エ 効率的な機械化の推進



素材生産

主な指標

項目	現況値 令和6年度	目標値 令和12年度
素材生産量(千m ³)	1,894	1,900
内数:ひなたのチカラ林業経営者素材生産量(千m ³)	1,243	1,653
林業イノベーションに取り組む事業者数(者)	64	87
林業産出額(億円)	(令和6年) 288	288

② 木材産業の競争力強化

具体的な施策

【図5参照】

- ア 木材加工・流通ネットワークの構築
- イ 効率化・省力化につながる生産体制の構築
- ウ 木質バイオマスの適切な利用
- エ 新たな木材需要創出に向けた取組の推進



効率的な製材加工

主な指標

項目	現況値 令和6年度	目標値 令和12年度
製材品出荷量(千m ³)	(令和6年) 882	920
製材品の全国シェア(%)	11.6	13.0
人工乾燥材生産量(千m ³)	(令和6年) 517	530
人工乾燥材率(%) ※建築用材に占める割合	64.1	64.2

③ 県産材の需要拡大の推進

具体的な施策

【図6参照】

- ア 消費者に選ばれる産地・製品づくりの推進
- イ リフォームなど住宅産業等との連携の促進
- ウ 非住宅・土木・家具等の幅広い分野への利用拡大
- エ 県産材製品の輸出促進
- オ 木づかい運動の推進



非住宅建築物での木材利用

主な指標

項目	現況値 令和6年度	目標値 令和12年度
製材品出荷量(千m ³) 再掲	(令和6年) 882	920
公共建築物における木造率(%)	23.2	35.0
木材輸出額(百万円)	8,106	8,487
内数:県産材の製品出荷額(百万円)	619	1,000

④ 特用林産物の振興

具体的な施策

【図7参照】

- ア 特用林産物の生産振興
- イ 特用林産物の消費・販路拡大
- ウ 新たな特用林産物の商品化



乾しいたけ



備長炭



原木しいたけ生産新規参入者研修

主な指標

項目	現況値 令和6年度	目標値 令和12年度
乾しいたけ生産量 (t)	(令和6年) 270	422
生しいたけ生産量 (t)	(令和6年) 2,181	3,220
木炭生産量 (t)	(令和6年) 197	342
特用林産物の認証取得件数 (有機JAS、GAP等) (件)	7	15

⑤ 研究・技術開発及び普及指導

具体的な施策

- ア 林業・木材加工試験研究と技術移転の推進
- イ 異業種との連携促進による木材の新たな分野への利用推進
- ウ 地域に密着した普及指導の展開



優良スギ品種の植栽試験



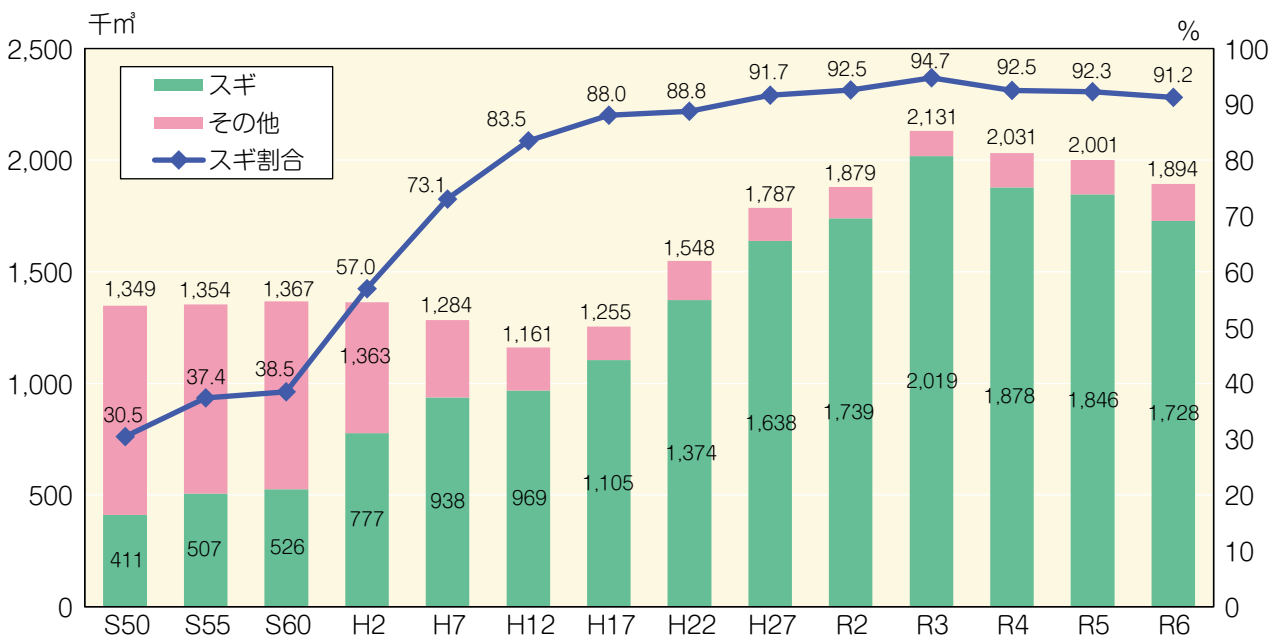
曲げ強度試験

主な指標

項目	現況値 令和6年度	目標値 令和12年度
研究成果の移転累計件数 (件)	林業技術センター	98
	木材利用技術センター	88
		110
		105

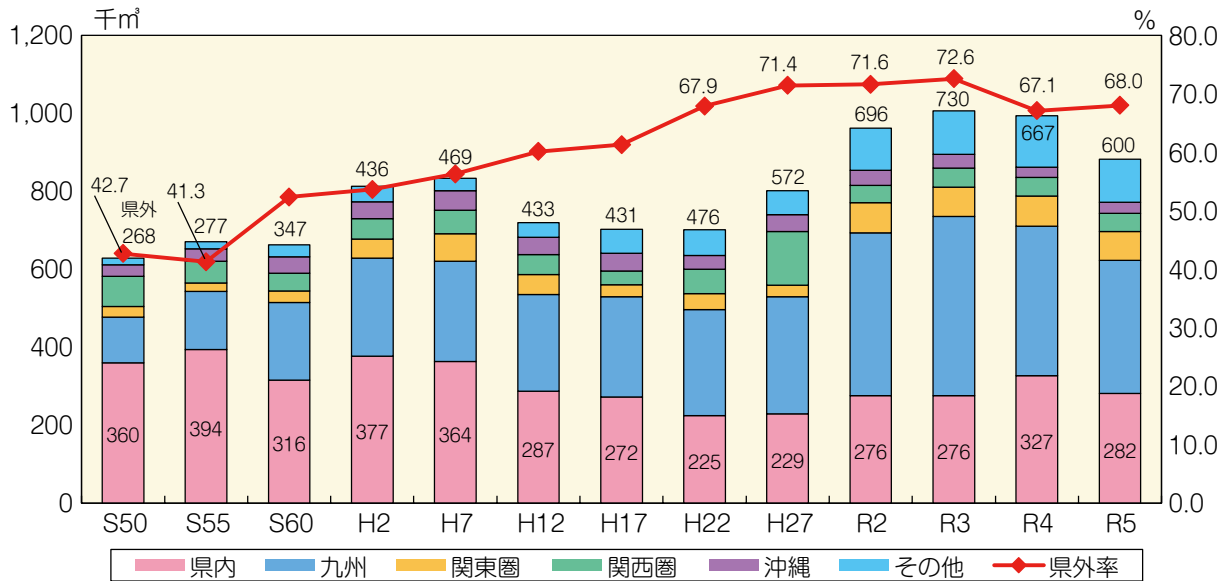
参考

図4 素材生産の推移



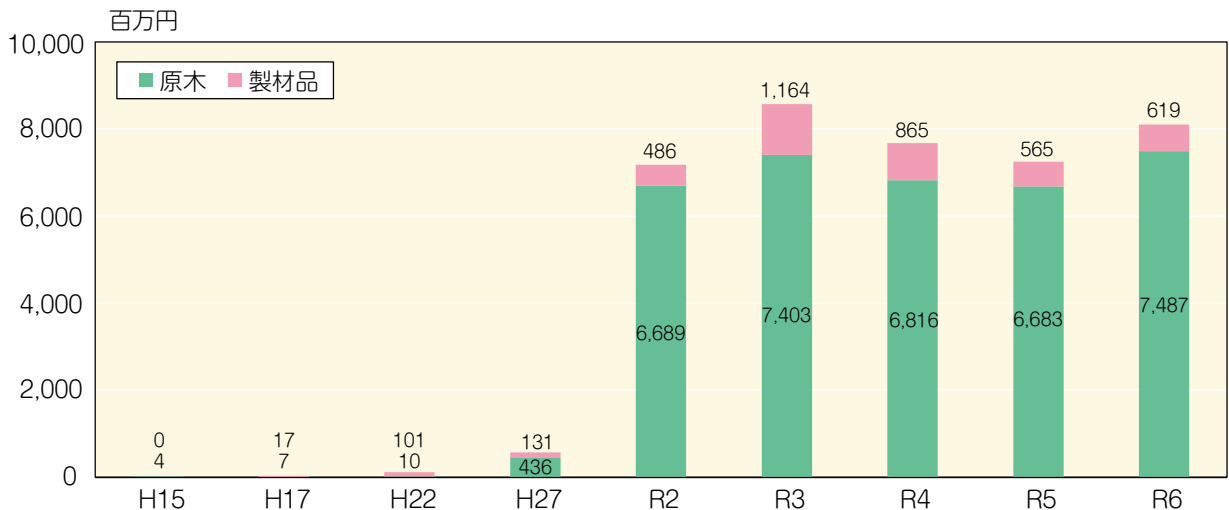
(資料:山村・木材振興課)

図5 製材品出荷先別出荷量の推移



(資料:山村・木材振興課みやざきスギ活用推進室)

図6 県産材輸出額の推移

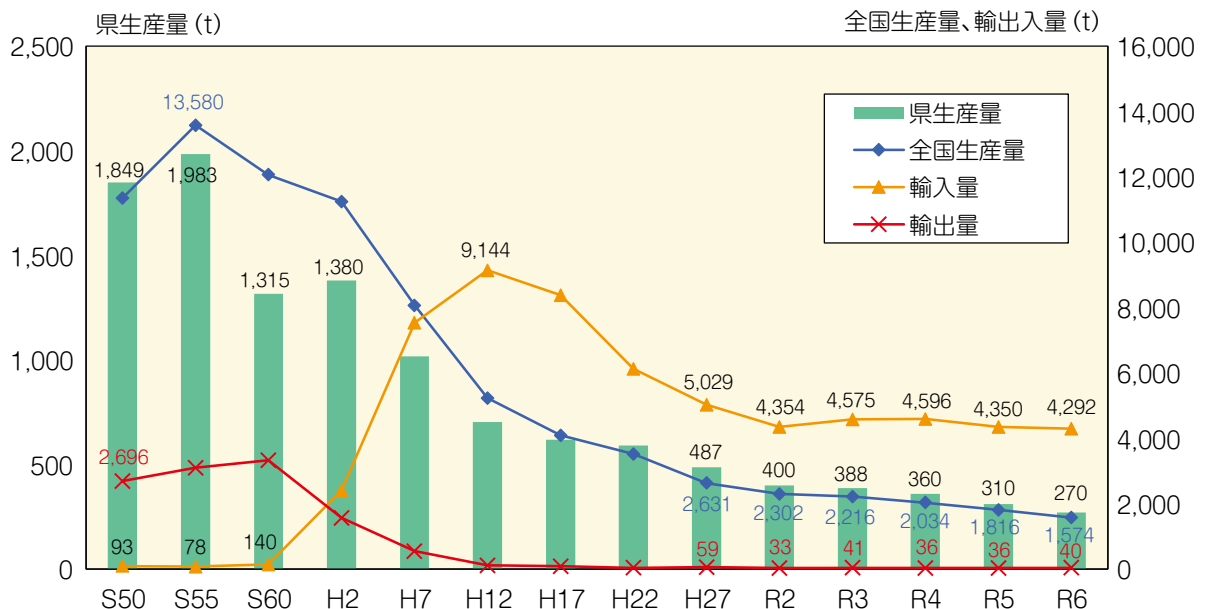


注1:県産材を輸出している企業等への聞き取り調査による。

注2:平成30年度からは、それまでの県内企業等に加え県外商社系企業を調査対象に追加したため、輸出額が大幅増となっている。

(資料:山村・木材振興課みやざきスギ活用推進室)

図7 乾しいたけ生産量の推移



(資料:山村・木材振興課)



3 森林・林業・木材産業を担う地域・人づくり

定住環境の整備や地域資源を活用した商品づくり、都市との交流促進等を図るとともに、県民の財産である森林と山村地域の基幹産業である林業や木材産業を守り・支える人材の確保・育成を進めます。

① 山村地域の振興・活性化

具体的な施策

- ア 定住環境の整備
- イ 地域の森林の適切な保全管理
- ウ 森林資源の活用による就業機会の創出と所得確保
- エ 都市と山村の交流促進



九州自然歩道(高千穂コース)の整備

主な指標

項目	現況値 令和6年度	目標値 令和12年度
山地災害危険地区の着手箇所数(箇所)再掲	2,617	2,737
県外からの林業・特用林産業新規就業者数(人)	18	23
自然公園利用者数(千人)	(令和5年) 7,412	9,300

② 林業・木材産業を支える担い手の確保・育成

具体的な施策 【図8、9参照】

- ア 新規就業者の確保・育成
- イ 林業・木材産業のリーダーやデジタル人材などの育成
- ウ 就労環境の改善
- エ 林業労働安全衛生の確保



みやざき林業大学校長期課程実習

主な指標

項目	現況値 令和6年度	目標値 令和12年度
みやざき林業大学校研修受講者累計数(人)	2,965	5,419
内数:長期課程研修受講者累計数(人)	124	259
15歳以上70歳未満の林業就業者数(人)	(令和2年) 2,117	2,000
新規林業就業者数(人)	166	150
労働安全研修受講者数(人)	255	315

※国勢調査による令和2年の70歳以上を含む林業就業者数は2,420人

③ 森林を育み、支える人づくり

具体的な施策 【図10参照】

- ア 多様な主体による森林づくり活動の促進
- イ 森林環境教育の推進
- ウ 木育の推進



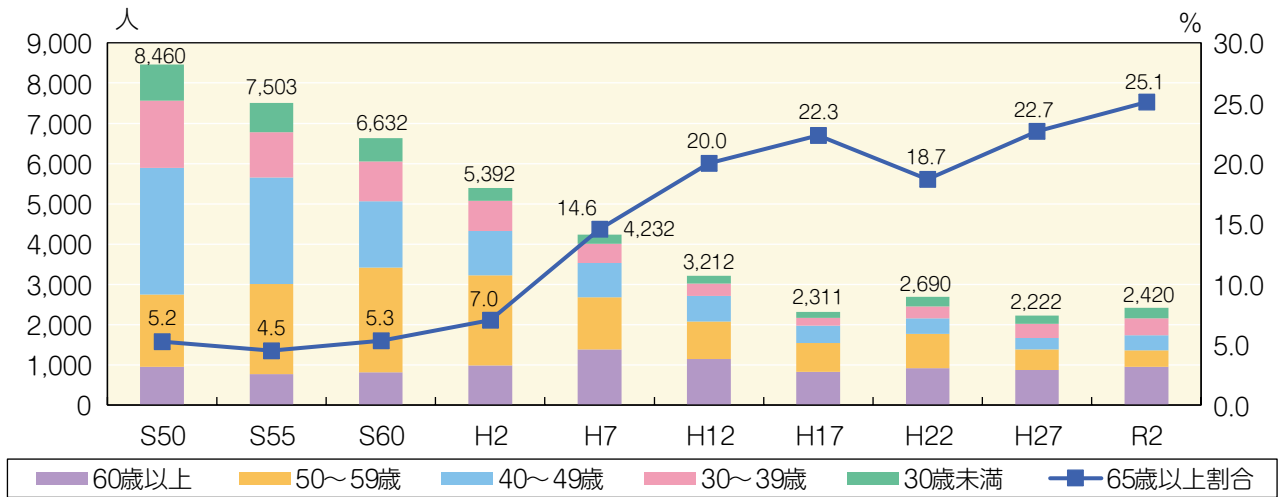
森林環境教育

主な指標

項目	現況値 令和6年度	目標値 令和12年度
森林ボランティア参加団体数(団体)	193	250
企業による森林整備・保全協定面積(累計)(ha)	615	650
森林環境教育参加者数(人)	5,824	10,090
木育活動参加者数(人)	2,925	5,000

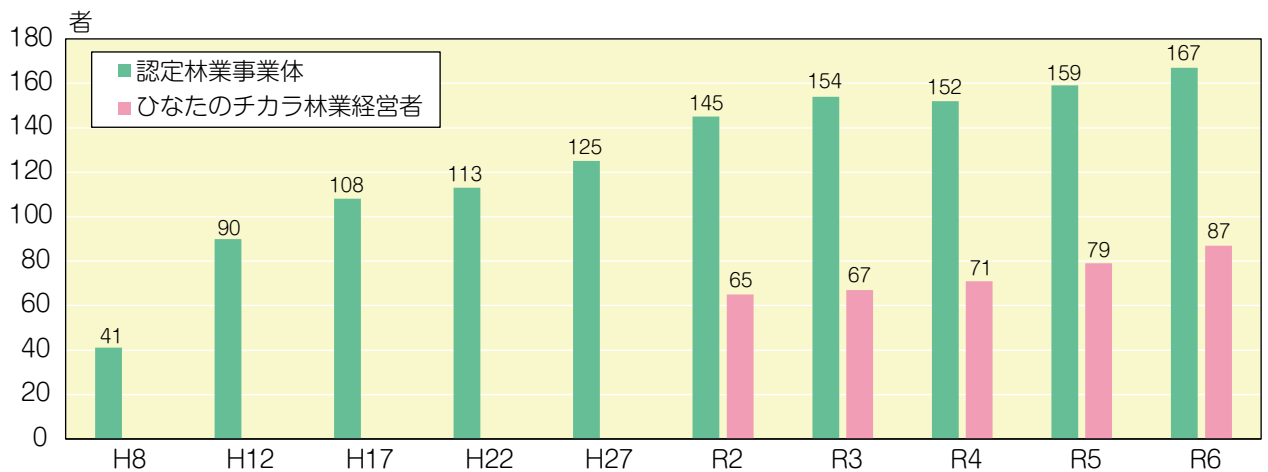
参考

図8 林業就業者の推移



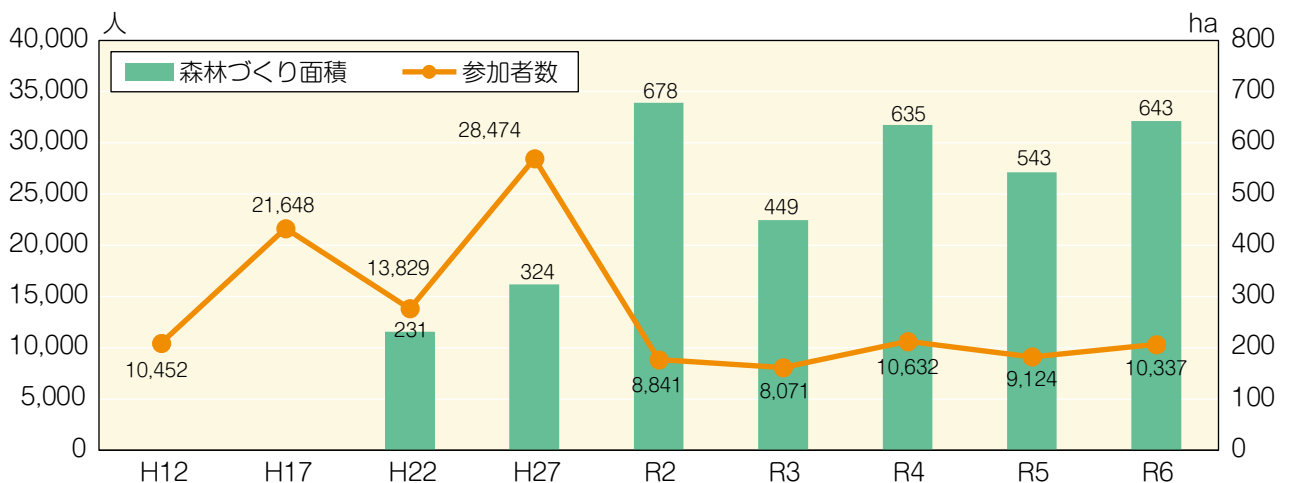
(資料:国勢調査)

図9 認定林業事業体、ひなたのチカラ林業経営者の推移



(資料:山村・木材振興課)

図10 森林ボランティア参加者数と森林づくり面積の推移



(資料:環境森林課)

4 | 重点プロジェクト

令和6年度から本格的に取り組んでいる「グリーン成長プロジェクト」では、再造林の推進に関する基本理念を定め、県の責務並びに関係者の役割を明らかにする宮崎県再造林推進条例を制定するとともに、産学官と県民が一丸となって抜本的な再造林対策に取り組む「宮崎モデル」の構築を進めています。

この取組は、プロジェクト終了後の令和9年度以降も継続的に推進する必要があることから、グリーン成長プロジェクトの4つの柱を本計画の重点プロジェクトとして、引き続き取り組みます。

重点1 再造林の推進に向けた意識醸成と支援体制等の充実

取組項目

- 1 再造林の意識醸成
- 2 地域再造林推進ネットワークの活動推進
- 3 再造林への支援充実
- 4 林地の集積・施業の集約化の推進



再造林推進ネットワーク

重点2 再造林を支える担い手・経営体の確保

取組項目

- 1 新規参入者の確保
- 2 造林作業員の就労環境改善
- 3 多様な担い手の確保・育成
- 4 林業経営体の確保・育成



担い手の確保・育成

重点3 林業採算性の向上を図る新技術等の実装

取組項目

- 1 優良苗木の安定的な供給体制の構築
- 2 省力・低コスト再造林の普及・定着
- 3 スマート林業の推進

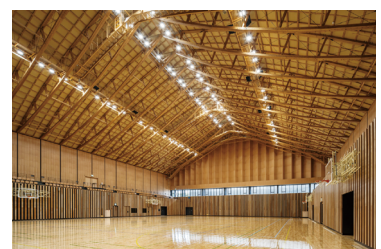


優良品種の苗木生産

重点4 循環型林業に不可欠な県産材需要の拡大

取組項目

- 1 JAS材、人工乾燥材、集成材等の効率的かつ安定的な生産体制の構築
- 2 共同出荷等による物流の効率化・低コスト化
- 3 非住宅・非建築分野における県産材の利用拡大
- 4 県産材製品の輸出拡大



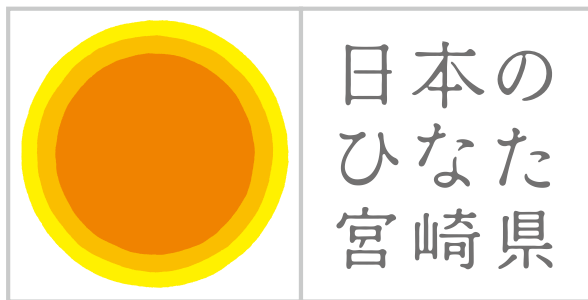
非住宅建築物での木材利用

5 | 地域計画

地域	重点的な取組	指 標		
		項 目	現況値 令和6年度	目標値 令和12年度
中部地域	①適切な伐採と速やかな再造林の推進 ②森林経営管理制度の推進 ③多様な主体による森林づくりの推進	①再造林率 (%) ※ R4 年度：58%、R5 年度：55%	54	90
		②スギ苗木生産量 (万本) (うちコンテナ苗)	284 (52)	300 (100)
		③森林経営管理制度における意向調査実施累計面積 (事前調査を含む) (ha)	1,158	6,300
		④企業や森林ボランティアによる森林整備面積 (ha)	286	195
南那珂地域	①適正な森林整備の推進 ②林業イノベーションの推進 ③生産・加工・流通体制の整備と木材の需要拡大	①再造林率 (%) ※ R4 年度：77%、R5 年度：79%	97	90以上
		②スギコンテナ苗木生産量 (万本)	17	21
		③ドローン等による森林調査面積 (ha)	376	350
北諸県地域	①持続可能な林業の確立に向けた再造林の推進 ②ニーズに応じた製材品等の加工体制の整備支援と需要拡大 ③生しいたけ生産の推進	①再造林率 (%) ※ R4 年度：68%、R5 年度：72%	49	90
		②スギコンテナ苗木生産量 (万本)	61	70
		③生しいたけ生産量 (t)	1,770	2,606
西諸県地域	①森林資源の循環利用の推進 ②自然の恵みを身近に感じる共生の森づくりの推進 ③森林経営管理制度の推進等による適切な森林整備	①再造林率 (%) ※ R4 年度：73%、R5 年度：76%	92	90以上
		②「ひなもり台県民ふれあいの森」利用者数 (人)	72,296	90,000
		③シカ捕獲数 (頭)	4,537	2,800
		④経営管理権の設定累計面積 (ha)	22	30
児湯地域	①再造林の推進と木材の低コスト生産体制の整備 ②地域林業を支える担い手の確保・育成 ③鳥獣被害防止対策の推進	①再造林率 (%) ※ R4 年度：64%、R5 年度：68%	74	90
		②林内路網密度 (m/ha)	30.8	32.0
		③新規林業就業者数 (人)	15	13
		④シカ捕獲数 (頭)	3,171	1,600
東臼杵地域	①森林資源情報の高度化と再造林の推進 ②原木の安定供給及び効率的な加工・流通体制の整備 ③安定した林業経営と中山間地域の振興に必要な担い手の確保・育成	①再造林率 (%) ※ R4 年度：90%、R5 年度：91%	86	90
		②スギコンテナ苗木生産量 (万本)	88	91
		③乾しいたけ生産量 (t)	124	211
西臼杵地域	①再造林対策による持続可能な林業の確立 ②森林経営管理制度と森林環境譲与税を有効利用した森林管理 ③林業担い手の確保・育成 ④魅力ある地域資源を活用した西臼杵の活性化	①再造林率 (%) ※ R4 年度：54%、R5 年度：66%	66	90
		②経営管理権の設定累計面積 (ha)	5	20
		③新規林業就業者数 (人)	18	15
		④乾しいたけ生産量 (t)	57	121

6 | 主な指標における本県の現況

区 分	単位	数 量	全国 順位	備 考(出典等)
総土地面積	ha	773,416	14	地域森林計画(令和6年度) 全国順位(令和3年度)
森林面積	ha (%)	585,394 (76)	13 10	
民有林面積	ha	407,656	15	
民有人工林面積	ha (%)	230,005 (56)	9 13	
森林蓄積	千m ³	195,630	7	
民有林蓄積	千m ³	145,401	7	
民有人工林蓄積	千m ³	115,207	4	
林内路網密度	m/ha	39.3	—	
高性能林業機械	台	1,136	2	林野庁林業機械保有状況調査(令和6年度)
素材生産量	千m ³	1,894	2	農林水産省統計 木材統計(令和6年)
スギ素材生産量	千m ³	1,728	1	//
製材品出荷量	千m ³	882	2	//
再造林面積	ha	2,079	—	宮崎県調べ(令和6年度)
再造林率	%	79	—	宮崎県調べ(令和6年度)
乾しいたけ生産量	t	270	2	林野庁特用林産基礎資料(令和6年)
生しいたけ生産量	t	2,181	11	//
木炭生産量	t	197	7	//
林業就業者数	人	2,420	2	国勢調査(令和2年)
森林組合数	組合	8	—	宮崎県の森林組合(令和6年度)
林業産出額	億円	288	4	農林水産省統計(平成6年)



宮崎県環境森林部環境森林課

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10-1 7号館2階
TEL0985-26-7153 FAX0985-26-7311
ホームページアドレス <http://www.pref.miyazaki.lg.jp>